

## 会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成21年度第3回臨時会
開催日時	平成22年1月28日（木曜日）午後1時から3時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：浅野委員、一方井委員、吉田豊委員、服部委員、鈴木委員、小西委員、大澤委員、吉田勉委員 事務局：奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 協議会評価について1 2 その他
会議資料の名称	1 事業評価指数作成表 2 地方文書の保管と利用
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会長：</p> <p>時間になりましたので、図書館協議会第3回臨時会を開催します。前回の会議録について気付いた点、訂正等ありますか。特になければ承認ということで本日の会議を始めます。本日の議題は協議会評価についてということで、図書館で作成した資料「事業評価指数作成表」に基づいて論議したいと思います。</p> <p>それでは副館長から説明をお願いします。</p> <p>○副館長：</p> <p>本日館長は別の会議に出席していますので、私が説明します。前回小西先生から評価についての講義がありました。</p> <p>「事業評価指数作成表」は以前にも示したものです。今回の表には、9月30日現在のデータを入れました。</p> <p>1から17までの項目全部を説明するのは時間がかかると思いますので、重点項目を説明します。</p> <p>1 図書館資料の収集と保存について、今日的要請に応えた資料を収集し、提供できるということで、NDC別蔵書数、NDC別出版点数、NDC別蔵書数とNDC別出版点数の比較を載せています。別表1 NDC別蔵書構成・出版点数との比較で、文学に次いで社会科学が多い状態になっています。</p>	

○委員：

NDC別資料構成比として年間出版点数と比較した数字があるというこは言えるが、それに対してコメントをつけるとしたら慎重にしなければいけないと思う。

○会長：

図書館の蔵書は累積しているので、単純な比較はできない。ただ、技術、自然科学、産業の分野は、時代とともに変わっていくもので、図書館によって専門的な特徴が出ると思います。

○委員：

市民が図書館に望んでいる本の種類と、図書館が揃えようとしている種類がリンクしているとすれば図書館は正しい動き方をしていると言える。

○会長：

地域の要求をどの程度受け入れているかとあわせて、逆に地域の要求度を図書館がどのくらい開拓しているかも大事な点だと思う。

○委員：

年間出版点数と実際に図書館が購入している冊数が出ていると良いと比較しやすいと思う。

○会長：

コミックは、現代はいろいろな分野のものがあるので、一般書とは別に分けたほうが良いと思う。

バランスのよい蔵書構成というのは、抽象的なので、近隣図書館と比較してみるなどの点があげられると思う。

次に、5 図書館資料の効率的な提供の推進に進みたいと思う。

○副館長：

蔵書に関しては、客観的に評価できない部分があるのでどのように評価するか迷っています。

○会長：

地域図書館は、日常的に利用される本を置くのが原則で、ストックよりフローです。ストックは県立なり都立図書館がするもので、それが拠り所になる。しかしその機能が失われてきているので、市町村立図書館も方向転換をさせられていると言える。

○副館長：

5 図書館資料の効率的な提供の推進には、予約と督促について書いてあります。

予約については、利用者自身による予約取消と取置き期限経過の処理に関わる人件費及び時間のロスと本の回転の問題が課題になります。

督促について、今まで返却率はとってなかったので、4月～9月の督促後返却率を出

しました。

○会長：

次はどこにしましょうか。他は大体回数、数字でわかるものですね。

○副館長：

図書館協議会では総評を書いていただきたいと思っています。細かい点について次に役立つために協議していただきたいので、今回と3月の2回に渡ってもよいかと考えます。

○会長：

6 市民の読書活動の援助で図書館側から積極的に読書会を広げていくようなことはしてますか。

○副館長：

今は読書会は実施していません。

○会長：

要は図書館応援団を作るということです。その人たちが図書館を支えてくれる。

○委員：

図書館に関わることで活動しようとする時、集まれる場所がない。人が集って話せる場所があると良いと思う。

○会長：

次は7-3 逐次刊行物サービスの推進に行きます。逐次刊行物の一番大きな問題は、保存年限です。

○副館長：

雑誌の保存期限を見直すというのは、以前は借りられた都立多摩図書館から貸出が受けられなくなったため、保存をある程度長くしなければならない。

○会長：

9 児童サービスの推進に行きます。公共図書館と学校との連携が大きな課題になっています。

○副館長：

西東京市は、学校図書館はもちろんですが、児童館、保育園を含めて武蔵野市の2倍位の団体貸出があります。多摩地区で一番多いと思います。

○会長：

児童サービスについて、他に何かありますか。

○副館長：

7 体験・ボランティア活動の受入れということで、一日図書館員の希望が増えています。おはなし会ボランティアを育成するということで、20年度から始めています。10 ヤングアダルトサービスの推進で、職場体験の受け入れは、中学生の一日図書館員が年々増えています。日にちも以前は1日だったのが、2日、3日に増えてきています。

○委員：

共同編集実施計画検討会議回数が未というのはまだ実施していないということですか。

○副館長：

まだ実施していません。

○会長：

11 地域・行政資料サービスの推進で何かありますか。

○副館長：

田無村御検地帳修復事業ですが、あまりにも状態が悪く修復が不可能というものがあるため、修復資料数が減る予定です。

平成23年1月に西東京市は10周年を迎えるので、記念事業として今まで修復した「地租改正絵図」「御検地帳」を展示してみたいと予定しています。

○会長：

12 ハンディキャップサービスの推進は何かありますか。

○副館長：

例年通りです。

○委員：

子ども読書活動推進計画に基づく事業実施について、課題解決達成率が55%というのは、あまりにも大まか過ぎる感じがする。

○副館長：

類縁・関係機関との連携では、多摩六都、四市行政圏、練馬区との関係は、特に練馬区立図書館との相互利用が、保谷駅前図書館が開館したことに伴い、練馬区民の利用が大きく増加しており、今後、西東京市民の利用に不利にならないようにするため、なんらかの対策が必要と考えています。

○館長：

細かくは見られませんでした。いくつかの項目について問題点を出してもらいました。今年度はあと1回ですがどのようにしましょうか。

○副館長：

今回は本日の協議の続きをするとともに、平成22年度事業計画を報告しますので、公表する評価をしていただくのは、4月に臨時会を開催したいと考えます。

○会長：

残りの時間を利用しまして、吉田委員から古文書関係の意見を述べていただきたいと思います。

○委員：

私は古文書を専門にしまして、今までに通った自治体の図書館について、地方文書の保管と利用を、利用の難易、活字化の努力、閲覧要領についてまとめてみましたのでご覧になっていただきたいと思います。

○会長：

本日の協議会はこれで終了いたします。次回は、3月25日（木曜日）午後2時から開催しますのでよろしくお願いします。